

あいさつ

わが国企業の経済基盤の急速な拡大と世界貿易事情の変化にともない、その活動の舞台を外国に求める企業が最近、増加しています。なかでもアメリカ合衆国はその政治的安定と自由なビジネス環境のゆえに特に有望な進出先の一つと考えられてきました。あわせて米国側の受入れ姿勢が積極的となっております。

このような背景のもとに、わが国企業の多くの要望に、こたえようと本セミナーを開催します。

本セミナーには、米国八大会計事務所の一つであるデロイト・ハスキンス・アンド・セルズ (Deloitte Haskins & Sells) の協力を得て、対米投資問題に精通した弁護士、会計士、労働問題専門家、銀行家を講師として招きます。わが国企業が対米投資をするにあたって直面するいろいろな問題、例えば企業進出の形態、法律問題、資金調達、労働及び雇用問題、税金と会計問題などにつき、わかりやすい解説と具体的対応策を示します。対米投資を計画または検討している企業、あるいはすでに対米投資をしていて、種々の問題をかかえている企業の担当者の方々には、またとない絶好のセミナーです。

このセミナーは同時通訳付きで各講師とも日本語と英語による豊富な資料を提供します。また、セミナー第一日目には夕方からレセプションを予定しており、個別問題について講師と個別に相談する機会を設けています。

この機会にわが国企業の経営者、関係当事者が本セミナーに積極的に参加され、対米投資にあたっての強力な支援とされることを望んでみます。

日本経済新聞社

日経ビジネススクール

「対米企業進出のノウハウ」

関係の部、課へ
ご回覧ください。

- 開催日 昭和57年4月13日(火)、14日(水)
- 会場 経団連会館シルバー・ルーム (10階)
(東京都千代田区大手町1-9-4)

主催
日本経済新聞社

紹介 (講演順)



テクニクス・イン・マネジメント・トランスファー社
代表取締役

トーマス・J・ネビンズ氏
(Mr. Thomas J. Nevins)

1950年生まれ。コーネル大学卒業後、同大学院で産業・労働関係論を修了。また、コーネル大学および日本の労働問題研究所で研究員を経験し、日本語にも通じている。滞日期間中、労働団体、企業、官公庁諸機関の顧問をつとめ、現在、労働問題、人的資源の分野でのコンサルタント会社、テクニクス・イン・マネジメント・トランスファー社 (TMT) 代表取締役。また1979~1980年には、在日米商工会議所 (ACCJ) 雇用問題委員会議長を務め、現在、同会議所理事会メンバー。



デロイト・ハスキンス・アンド・セルズ
パートナー、米国公認会計士

デービッド・F・バートランド氏
(Mr. David F. Bertrand)

1940年生まれ。1962年、ノートルダム大学 (経営管理学専攻) を卒業。米国公認会計士。現在、デロイト・ハスキンス・アンド・セルズのパートナー (米国本部所属)。多国間税務、配当に関する税金対策、在米外国企業税務を専門とする。米国公認会計士協会会員、同国際税務委員会メンバー。国際税務協会会長、国際財務協会評議員、国際税務ジャーナル編集委員など多方面で活躍している。



デロイト・ハスキンス・アンド・セルズ
パートナー、公認会計士

松尾 弘人 氏

1931年生まれ。1955年一橋大学商学部卒業。1961年、公認会計士開業登録、1963年よりデロイト・ハスキンス・アンド・セルズ公認会計士共同事務所勤務し、内外諸企業の税務、監査に従事。現在、同事務所のパートナー。国内および国際税務の実務に精通。公認会計士協会会員。



デロイト・ハスキンス・アンド・セルズ在米日本代表
パートナー、日本・米国公認会計士

嶋 孝 司 氏

1939年生まれ。1962年早稲田大学第一商学部卒業。三菱銀行勤務の後、1964年よりデロイト・ハスキンス・アンド・セルズ公認会計士共同事務所に勤務。その間、1971年から1974年までデロイト・ハスキンス・アンド・セルズのサンフランシスコ事務所勤務。また1977年以後、同ニューヨーク事務所勤務し、わが国企業はじめ多くの国際企業に監査・会計・税務などのサービスを提供。1981年よりデロイト・ハスキンス・アンド・セルズの在米日本代表パートナー。現在、日本およびアメリカの公認会計士、公認会計士協会会員、米国公認会計士協会およびニューヨーク州公認会計士協会会員。